

令和4年度

社会福祉関係職員

研修概要

目 次

はじめに	1
令和4年度社会福祉関係職員研修体系表	2
令和4年度社会福祉関係職員研修計画表	3
研修開催要綱一覧	5
開催実施方法	23
申し込みから受講までの流れ	24
受講上の留意事項	25
研修実施上の新型コロナウイルス等感染症対策について	26

☞研修に関する最新情報は、本会ホームページで随時更新しております。

<https://www.fukushiniigata.or.jp/kensyuu/kensyuus/>

新潟県社会福祉協議会 社会福祉研修センター

検索



■ はじめに

I 基本方針

社会福祉法人新潟県社会福祉協議会は、昭和 60 年 4 月に新潟県社会福祉研修センターを開設して以来、37 年にわたり、社会福祉事業従事者などを対象とした各種研修を実施しています。

その間、急速に進行している少子高齢化に伴い、社会福祉を取り巻く状況は大きく変化し、県民の福祉に対するニーズはますます多様化しています。個人の尊厳を保持し、自立を支援し、利用者の視点に立ったサービスの提供が求められており、その担い手である社会福祉事業従事者の高い専門性と豊かな人間性を備えた人材の育成・確保がますます重要になっています。

本研修センターでは、適切で質の高い支援やサービスを提供し、今日の福祉課題に対応できる人材の養成に資するために、関係機関・団体等と緊密な連携を取りながら、社会福祉関係職員研修事業をニーズに適った充実したものにすべく取り組んでおります。

また、昨今の新型コロナウイルス感染症等への対応を踏まえ、従来の集合方式での研修実施に加え、オンラインを活用したライブ配信やオンデマンド配信による研修も織り交ぜながら、より効果的な研修の実施体制を目指しております。

県内の福祉関係職員をはじめ、多くの方々にこの研修概要をご覧いただき、社会福祉関係職員研修事業へのご理解をさらに深めていただき、研修をご受講いただければ幸いです。

II 研修目標

- (1) 豊かな人間性と社会福祉従事者としての自覚・使命感の養成
- (2) 倫理と実践に裏付けられた専門的知識及び技術の向上
- (3) 業務に意欲的に取り組み、問題解決能力を養うための自己開発の促進
- (4) 主体的な研修参加による相互理解の助長及び学習意欲の高揚



III 社会福祉研修センターの概要

- (1) 名 称 社会福祉法人新潟県社会福祉協議会 社会福祉研修センター
- (2) 所 在 地 〒950-8575 新潟県新潟市中央区上所 2 丁目 2 番 2 号 新潟ユニゾンプラザ 3 階
- (3) ホームページ <https://www.fukushiniigata.or.jp/kensyuu/kensyuuc/>

☞ ご案内：社会福祉法人新潟県社会福祉協議会の会員加入について

新潟県社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核団体として昭和 26 年 3 月に財団法人として創設され、昭和 27 年 7 月 1 日に社会福祉法人として設立されました。県内の公私の社会福祉関係者の参加と協力のもと、「共に生き共につくる福祉社会を目指して」を基本理念に、住民一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりのための活動に取り組んでいます。

会員にご加入いただくと、**本会が主催する研修会への参加費割引**や、新潟県民間社会福祉職員退職積立基金制度への加入ができるほか、県内の福祉の動向などを掲載した本会機関紙「福祉にいがた」をお届けします。

詳しくはホームページをご覧ください。<https://www.fukushiniigata.or.jp/about/pref/>

令和4年度 社会福祉関係職員研修 体系表

階層 種別	初任者 (職務経験3年以下)	中堅職員 (職務経験4年以上)	指導的職員 (主任・係長等)	管理職員 (施設長・管理者等)	
社会福祉 行政関係	福祉行政新任職員研修				
階層別	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 (初任者コース)	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 (中堅職員コース)	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 (チームリーダーコース)	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 (管理職員コース)	
法人 運営			人事管理研修		
			社会福祉法人会計実務研修		
人材 育成・ 定着			ハラスメント防止対策研修		
			人材採用力強化研修		
			人材定着支援研修		
		若手職員研修			
		職場研修担当職員研修			
		新人・後輩職員の育成指導研修			
		新任職員スタートアップ研修			
			チームビルディング研修		
社会福祉 施設 職員 関係		スーパービジョン研修			
		コーチング研修			
		より良い職場づくりのための業務改善研修			
		気づく力研修			
		リーダーシップ研修			
		ファシリテーション研修			
		介護職のためのアンガーマネジメント研修			
		ストレスマネジメント研修			
		モチベーションアップ研修			
		福祉職の接遇マナー研修			
コミュ ニケー ション	コミュニケーション力向上研修				
			リーダーコミュニケーション研修		
	伝える力研修				
スキ ル ア ッ プ	相談面接技術研修				
		相談記録の書き方研修			
	介護記録の書き方研修				
	認知症ケア・対応研修				
	フィジカルアセスメント研修				
	看取りケア研修				
	口腔ケア研修				

(注) 研修日程やプログラム等については、各研修の開催要綱をご確認ください。

【受講者の階層区分】

新任職員	業務経験3年以下の新任職員
中堅職員	業務経験4年以上で、主任・係長等の役職に就いていない中堅職員
指導的職員	主任・係長等の役職に就いている者またはそれに該当する指導的職員
管理職員	施設長・事務局長等の役職にある者またはそれに該当する運営管理を行う管理職員

令和4年度 社会福祉関係職員研修 実施計画表

区分	No.	研修名	対象者	実施方法	定員	実施日	申込開始日	申込締切日	
社会福祉行政	1	福祉行政新任職員研修	県、市、町の福祉行政に従事している期間が2年未満の職員	ライブ配信	40	5月31日	4月11日	5月15日	
社会福祉施設職員	2	初任者コース	職務経験3年以下の新任職員	集合研修	50	8月22-23日	5月9日	6月12日	
					50	9月20-21日	6月6日	7月10日	
					50	10月12-13日	6月27日	8月7日	
	3	中堅職員コース	職務経験概ね4年以上で主任・係長に就いていない中堅職員	集合研修	50	8月25-26日	5月9日	6月19日	
					50	10月6-7日	6月20日	7月31日	
					50	11月16-17日	8月1日	9月11日	
	4	チームリーダーコース	主任・係長に就いている職員又はそれに該当する指導的職員	集合研修	50	9月12-13日	5月30日	7月10日	
					50	10月3-4日	6月20日	7月31日	
					50	11月10-11日	7月25日	9月4日	
	5	管理職員コース	施設長・事務局長等の役職にある職員、またはそれに該当する管理者	ライブ配信	50	8月29-30日	5月16日	6月19日	
	法人運営	6	人事管理研修	指導的職員・管理職員	ライブ配信	60	10月18日	7月18日	9月4日
		7	社会福祉法人会計実務研修	施設長・事務局長・管理者、財務・経理担当者	収録配信	60	12月1日～	9月5日	10月23日
		8	ハラスメント防止対策研修	管理職員・労務管理担当者	ライブ配信	60	10月27日	7月25日	9月11日
	人材育成・定着	9	人材採用力強化研修	管理職員・採用(人事)担当者	集合研修	60	10月28日	7月25日	9月11日
10		人材定着支援研修	指導的職員・管理職員	ライブ配信	60	10月26日	7月25日	9月11日	
11		若手職員研修	福祉関係職員	集合研修	60	7月15日	4月18日	6月5日	
12		職場研修担当者研修	職場研修担当者	集合研修	60	11月30日 12月1日	9月5日	10月16日	
13		新人・後輩職員の育成・指導研修	新人職員の育成・指導を担当している職員、または担当予定の職員	集合研修	60	5月25日	4月11日	5月8日	
14		新任職員スタートアップ研修	職務経験1年以下の新任職員で、過去に社会福祉の基礎を学んだことがない方	集合研修	60	8月17日 8月18日	5月23日	7月10日	

令和4年度 社会福祉関係職員研修 実施計画表

区分	No.	研修名	対象者	実施方法	定員	実施日	申込開始日	申込締切日	
社会福祉施設職員	組織マネジメント	15	チームビルディング研修	中堅職員・指導的職員・管理職員	集合研修	60	6月3日	4月11日	5月15日
		16	スーパービジョン研修	指導的立場の職員で現に指導・助言・支援を行っている者及びその予定がある者	集合研修	60	12月6日	9月12日	10月23日
		17	コーチング研修	指導的立場の職員で現に指導・助言・支援を行っている者及びその予定がある者	集合研修	60	11月1日	8月1日	9月18日
		18	より良い職場づくりのための業務改善研修	中堅職員・指導的職員・管理職員	集合研修	60	7月8日	4月11日	5月29日
		19	気づく力研修	中堅職員・指導的職員	ライブ配信	80	9月6日	6月6日	7月24日
		20	リーダーシップ研修	中堅職員・指導的職員	ライブ配信	80	8月8日	5月9日	6月26日
		21	ファシリテーション研修	福祉関係職員	ライブ配信	60	11月7日	8月8日	9月25日
		22	介護職のためのアンガーマネジメント研修	福祉関係職員	ライブ配信	60	7月3日	4月11日	5月22日
		23	ストレスマネジメント研修	福祉関係職員	集合研修	60	11月25日	8月29日	10月16日
		24	モチベーションアップ研修	福祉関係職員	ライブ配信	60	12月7日	9月5日	10月30日
	コミュニケーション	25	福祉職の接遇マナー研修	新任職員	集合研修	60	6月30日	4月11日	5月15日
		26	コミュニケーション力向上研修	新任職員・中堅職員	集合研修	60	6月6日	4月11日	5月15日
		27	リーダーコミュニケーション研修	指導的職員・管理職員	集合研修	60	7月7日	4月18日	6月12日
		28	伝える力研修	福祉関係職員	ライブ配信	80	10月25日	7月25日	9月11日
	スキルアップ	29	相談面接技術研修	相談援助業務に従事している職員・今後従事予定の職員	集合研修	60	7月22日	4月25日	6月19日
		30	相談記録の書き方研修	相談援助業務に従事している職員	ライブ配信	60	12月14日	9月12日	11月6日
		31	介護記録の書き方研修	福祉関係職員	ライブ配信	60	12月2日	9月5日	10月23日
		32	認知症ケア・対応研修	福祉関係職員	集合研修	60	6月29日	4月11日	5月15日
					60	8月19日	5月16日	7月3日	
		33	フィジカルアセスメント研修	福祉関係職員	ライブ配信	60	7月21日	4月25日	6月19日
		34	看取りケア研修	福祉関係職員	集合研修	60	12月16日	9月19日	10月30日
	35	口腔ケア研修	福祉関係職員	ライブ配信	60	8月9日	5月9日	6月26日	

■ 研修開催要綱一覧

▶ 社会福祉行政職員

福祉行政新任職員研修			
福祉行政業務に従事する職員に必要な基礎知識・技術を学ぶとともに福祉制度利用者への理解を深める。			
対象者	県、市町村の福祉行政に従事している期間が2年未満の職員		
日程	5月31日(火)	会場	オンラインによるライブ配信
受講料	5,200円(県職員は無料)	定員	40名
内容	時間	内容	
	9:30～12:00	○アイスブレイク、ワーク～福祉課題を考える～ ○社会福祉を取り巻く動向と課題について	
	13:00～17:00	○生存権と公的責任、福祉計画と地域共生社会 ○ワーク～福祉は公務員で最も○○される仕事～	
【講師】新潟大学歯学部 口腔生命福祉学科 准教授 中村 健			
その他	受講するにあたって事前学習があります。		

▶ 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程

福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（初任者コース）			
自らのキャリアパスを描き、それぞれの職務段階に応じた能力の向上を目指すとともに、新任職員に求められる役割を遂行していくために必要な基本的事項を習得する。			
対象者	社会福祉施設の新任職員(職務経験3年以下)		
日程	第1回：8月22日(月)・23日(火) 第2回：9月20日(火)・21日(水) 第3回：10月12日(水)・13日(木)	会場	第1回：燕三条地場産業振興センター リサーチコア 6階 研修室①② 第2回：新潟ユニゾンプラザ 4階 大会議室 第3回：新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
受講料	7,200円	定員	各50名
内容	時間	内容	
	【1日目】 9:20～16:40	○福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理 ○福祉サービスの基本理念・倫理の基礎を理解する ○対人関係マナーとコミュニケーション	
	【2日目】 9:30～16:40	○能力開発・問題解決・リスクマネジメント・多職種連携・運営管理 ○福祉職員として、これから何を大切に、どのようなことに留意すべきか ○自己イメージ及び課題を明確にし、目標に向けた行動計画を策定する	
【講師】全国社会福祉協議会「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」指導者養成研修修了者			
その他	指定の研修テキストを使用します。受講するにあたって事前学習があります。		

福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（中堅職員コース）

自らのキャリアパスを描き、それぞれの職務段階に応じた能力の向上を目指すとともに、中堅職員に求められる役割を遂行していくために必要な基本的事項を習得する。

対象者	社会福祉施設の中堅職員(職務経験4年以上で主任や係長に就いていない職員)		
日程	第1回：8月25日(木)・26日(金) 第2回：10月6日(木)・7日(金) 第3回：11月16日(水)・17日(木)	会場	第1回：新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室 第2回：燕三条地場産業振興センター リサーチコア 6階 研修室①② 第3回：新潟ユニゾンプラザ 4階 大会議室
受講料	7,200円	定員	各50名
内容	時間	内容	
	【1日目】 9:20～16:40	○中堅職員としてのキャリアデザインと自己管理 ○福祉サービスの基本理念・倫理の基礎を理解する ○組織の一員としてのフォローシップの醸成 ○チームケアと問題解決	
	【2日目】 9:30～16:40	○能力開発、問題解決、リスクマネジメント、多職種連携、運営管理 ○中堅職員として、これから何を大切に、どのようなことに留意すべきか ○自己イメージ及び課題を明確にし、目標に向けた行動計画を策定する	
	【講師】 全国社会福祉協議会「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」指導者養成研修修了者		
その他	指定の研修テキストを使用します。受講するにあたって事前学習があります。		

福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（チームリーダーコース）

自らのキャリアパスを描き、それぞれの職務段階に応じた能力の向上を目指すとともに、チームリーダーに求められる役割を遂行していくために必要な基本的事項を習得する。

対象者	社会福祉施設の指導的職員(主任や係長等に就いている職員またはそれに該当する指導的職員)		
日程	第1回：9月12日(月)・13日(火) 第2回：10月3日(月)・4日(火) 第3回：11月10日(木)・11日(金)	会場	第1回：燕三条地場産業振興センター リサーチコア 6階 研修室①② 第2・3回：新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
受講料	7,200円	定員	各50名
内容	時間	内容	
	【1日目】 9:20～16:40	○チームリーダーとしてのキャリアデザインと自己管理 ○福祉サービスの基本理念・倫理の基礎を理解する ○チームリーダーとしてのリーダーシップの醸成 ○OJTの効果的推進 ○問題解決等会議の効果的な進め方	
	【2日目】 9:30～16:40	○能力開発、問題解決、リスクマネジメント、多職種連携、運営管理 ○チームリーダーとして、これから何を大切に、どのようなことに留意すべきか ○自己イメージ及び課題を明確にし、目標に向けた行動計画を策定する	
	【講師】 全国社会福祉協議会「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」指導者養成研修修了者		
その他	指定の研修テキストを使用します。受講するにあたって事前学習があります。		

福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（管理職員コース）

自らのキャリアパスを描き、それぞれの職務段階に応じた能力の向上を目指すとともに、管理職員に求められる役割を遂行していくために必要な基本的事項を習得する。

対象者	社会福祉施設の施設長・事務局長・管理者等		
日程	8月29日(月)・30日(火)	会場	オンラインによるライブ配信
受講料	9,000円	定員	各50名
内容	時間	内容	
	【1日目】 9:20～16:40	<ul style="list-style-type: none"> ○管理職員としてのキャリアデザインと環境整備 ○福祉サービスの基本理念・倫理を徹底する ○組織・部門管理者としてのリーダーシップの醸成 ○利用者本位サービス実現と権利侵害防止に向けた取り組み 	
	【2日目】 9:30～16:40	<ul style="list-style-type: none"> ○能力開発、問題解決、リスクマネジメント、多職種連携、運営管理 ○管理職員として、これから何を大切に、どのようなことに留意すべきかに ○自己イメージ及び課題を明確にし、目標に向けた行動計画を策定する 	
	【講師】日本女子大学 人間社会学部 教授 久田 則夫		
その他	指定の研修テキストを使用します。受講するにあたって事前学習があります。		

▶法人運営

人事管理研修

組織において施設・事業所の規模に関係なく、職員1人1人の力量を高めていく環境整備は不可欠です。新潟県においても増加している処遇改善加算を届出している施設・事業所では、同時にキャリアパスも整えていることと思います。しかし、キャリアパスを作っただけで、育成や評価・賃金と関連付けて、活かし切れている法人はまだ少ないのではないのでしょうか。

本研修では、キャリアパスを職員の育成等にどう活かしていくか、既存の制度をどうメンテナンスしていくかの観点を含めて、人事管理全体を学ぶことを目的として開催します。

対象者	社会福祉施設・社協に勤務する人事管理業務に携わる職員。		
日程	10月18日(火)	会場	オンラインによるライブ配信
受講料	3,200円	定員	60名
内容	時間	内容	
	13:30～16:30	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリアパスの作り方の基本 ○キャリアパスと他の人事制度の関連と活用の仕方 ○キャリアパスと育成との関連付けと活用の仕方 	
	【講師】HRM-LINKS Co.,Ltd. 網川労務管理センター 人事コンサルタント（社会保険労務士） 網川 晃弘 氏		

社会福祉法人会計実務研修

社会福祉法人制度改革に伴い、社会福祉法人には「透明性」かつ「安定」した法人運営が求められています。従って、会計担当職員が果たすべき役割はより重要なものとなります。

本研修では、社会福祉法人会計に求められる基本的な会計知識を理解するとともに、会計実務に必要な知識を習得することを目的に開催します。

対象者	社会福祉法人に勤務する管理職員、事務局長、財務・経理担当者		
日程	12月1日(木)～12月26日(月)	会場	動画配信
受講料	3,200円	定員	60名
内容	時間	内容	
	※動画配信 (90分)	○決算業務における留意点について	
	※動画配信 (90分)	○決算書(計算書類・計算関係書類)におけるチェックすべきポイントについて	
【講師】 税理士法人さくら総合会計 新潟事務所 公益・社会福祉法人部			

ハラスメント防止対策研修

令和3年度の介護報酬改定で、すべての介護サービス事業者に、ハラスメント対策が求められることになりました。介護現場では、利用者や家族等による介護職員への身体的暴力や精神的暴力、セクシュアルハラスメントなどが少なからず発生しており、介護職員の離職等の一因となっています。介護現場におけるハラスメントは、職員個人の問題ではなく、介護サービス事業所及び運営法人の問題と捉え、管理者や職員各々が認識の共有を図り、対応する必要があります。それらのハラスメントについて、『介護現場におけるハラスメント対策マニュアル』をもとに、実際の事例も交えながら、対策やトラブル発生時の対応を学び、働きやすい職場づくりを推進していくための理解を深めます。

対象者	管理職員または労務管理担当者		
日程	10月27日(木)	会場	オンラインによるライブ配信
受講料	7,200円(県社協会員は5,200円)	定員	60名
内容	時間	内容	
	13:30～15:00	○介護現場における利用者や家族等によるハラスメントの実態 ○介護現場におけるハラスメント対策の必要性 ○ハラスメント対応として事業者が取り組むべきこと	
	15:00～15:10	○質疑応答	
【講師】 社会福祉法人恩賜財団済生会支部山形県済生会 特別養護老人ホームながまち荘 施設長 峯田 幸悦 (一般社団法人山形県老人福祉施設協議会 会長)			

▶人材育成・定着

人材採用力強化研修

近年、福祉サービスの需要の増加が見込まれる中、福祉分野における人材不足はますます深刻化しています。一人ひとりの人材の価値は高まり、人材採用が法人・組織の成長の鍵を握っているといえます。

こうした中、自法人に必要な人材像を見極め、求職者の心が離れないようなアプローチで採用活動を成功させるための取り組みについて理解を深めます。

対象者	管理職員または採用(人事)担当者		
日程	10月28日(金)	会場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大会議室
受講料	7,200円(県社協会員は5,200円)	定員	60名

内容	時間	内容
	13:15~17:00	<ul style="list-style-type: none"> ○採用活動チェックリストの解説 ○採用活動で成果を上げる法人、施設は「ココが違う！」理論編 ○採用活動で成果を上げる法人、施設は「ココが違う！」事例編 ○自法人の魅力の掘り下げ方など
【講師】株式会社エイデル研究所 出版・広報企画部 部長 熊谷 耕		

人材定着支援研修

福祉人材の育成・定着を図るためには、給与水準や労働時間などの労働環境の改善とあわせて、職員の資質向上を図るとともに、職員が将来の展望を持って働き続けることができるよう、能力・資格・経験等に応じたキャリアパスの構築が重要となっています。

本研修では、職員が資質向上を図りながら将来展望を持って働き続けることができるよう、キャリアパスの構築に向けた取り組みや体制づくりについて理解することを目的に開催します。

対象者	指導的立場の職員または人材育成担当者		
日程	10月26日(水)	会場	オンラインによるライブ配信
受講料	3,200円	定員	60名

内容	時間	内容
	10:00~12:30	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉の人材育成の現状と課題(キャリアパスの基本的理解) ○人材育成マネジメントにおける課題
【講師】高崎健康福祉大学 健康福祉学部 社会福祉学科 教授 永田 理香		

若手職員研修

福祉職場において、職場内及び利用者へのコミュニケーション力が必要となります。対人援助を行う上で、好感を持たれることが信頼関係を形成する1つの手段となります。

本研修では、好感を持たれる印象について「表情」「姿勢」「所作」など人間関係を円滑にするコミュニケーションの手法を学び、力を身に付けることを目的として開催します。

対象者	新任職員または中堅職員		
日程	7月15日(金)	会場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
受講料	6,200円(県社協会員は4,200円)	定員	60名
内容	時間	内容	
	10:30~12:00	○信頼される存在になるために必要なことについて学ぶ (表情などが周囲に与える印象の重要性など)	
	13:00~16:00	○好感を持たれるコミュニケーションの手法を学ぶ	
	【講師】印象アップコーディネーター 佐藤 裕美		

職場研修担当者研修

福祉・介護人材の不足が懸念される中、人材の育成や定着を図り、法人並びに地域社会にとって有益な人材を活用し、求められる役割を果たしていくことが必要です。

本研修では、OJTをはじめとする職場研修の運営実務に関する知識及び技術を習得し、各施設・事業所の職場研修の体制整備をはかることを目的に開催します。

対象者	職場研修担当者		
日程	11月30日(水)・12月1日(木)	会場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大会議室
受講料	5,200円	定員	60名
内容	時間	内容	
	【1日目】 10:30~16:30	○これからの福祉人材育成と職場研修 ○職場研修の考え方と推進方法、推進実態を診断する	
	【2日目】 10:30~16:30	○OJT 活性化施策の推進・OFF-JTによる人材育成 ○研修ニーズ分析と年度計画の策定 ○職場研修担当職員の役割と課題、研修管理サイクルの意義	
	【講師】新潟医療福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 講師 中井 良育		

新人・後輩職員の育成・指導研修

福祉現場では、人材不足や離職率の高まりなど、人材確保や定着が課題となっています。また、異業種から様々なキャリアを持った人材が福祉業界に入職するケースも増えています。新任職員の身近な指導・相談役としてのエルダ－の存在は、職場への適応を促し、早期離職を防ぐ上でその重要性が高まっています。

本研修は、そのエルダ－に求められる役割や心構え、新任職員が福祉職としての自覚とやりがいを持って働くことができるよう育成・サポートする方法について理解することを目的に開催します。

対象者	新人職員の育成・指導を担当している、または担当予定の福祉関係職														
日程	5月25日(水)	会場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大会議室												
受講料	3,200円	定員	60名												
内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時間</th> <th colspan="2">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10:30~12:00</td> <td colspan="2"> ○エルダ－の機能と役割を理解 ○OJTの手法に基づく実務指導の方法 </td> </tr> <tr> <td>13:00~15:30</td> <td colspan="2">○新任職員の育成計画について</td> </tr> <tr> <td>15:30~16:00</td> <td colspan="2">○職場が一体となった職員育成の必要性和、職員同士が高め合える環境づくりについて</td> </tr> </tbody> </table>			時間	内容		10:30~12:00	○エルダ－の機能と役割を理解 ○OJTの手法に基づく実務指導の方法		13:00~15:30	○新任職員の育成計画について		15:30~16:00	○職場が一体となった職員育成の必要性和、職員同士が高め合える環境づくりについて	
	時間	内容													
	10:30~12:00	○エルダ－の機能と役割を理解 ○OJTの手法に基づく実務指導の方法													
	13:00~15:30	○新任職員の育成計画について													
	15:30~16:00	○職場が一体となった職員育成の必要性和、職員同士が高め合える環境づくりについて													
【講師】新潟医療福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 講師 渡辺 恵															

新任職員スタートアップ研修

福祉・介護職員が利用者本位のサービス提供を行うためには、介護技術や対人援助技術の習得はもとより、社会福祉の基本理念や倫理等を理解したうえで業務にあたるのが重要になります。

本研修では、これまで社会福祉の基礎を学んだことのない福祉・介護職員を対象に、利用者の立場に立った支援のあり方、対人援助職に求められる行動・役割等について理解することを目的に開催します。

対象者	新任職員(社会福祉施設・事業所の職員で、社会福祉の基礎を学んだことがない方)											
日程	8月17日(水)・18日(木)	会場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大会議室									
受講料	5,200円	定員	60名									
内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時間</th> <th colspan="2">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【1日目】 10:30~16:00</td> <td colspan="2"> ○社会福祉の価値・理念 ○社会福祉の対人援助 </td> </tr> <tr> <td>【2日目】 10:30~16:00</td> <td colspan="2"> ○社会福祉の歴史・課題 ○実践現場における不安や戸惑いから考える利用者支援 </td> </tr> </tbody> </table>			時間	内容		【1日目】 10:30~16:00	○社会福祉の価値・理念 ○社会福祉の対人援助		【2日目】 10:30~16:00	○社会福祉の歴史・課題 ○実践現場における不安や戸惑いから考える利用者支援	
	時間	内容										
	【1日目】 10:30~16:00	○社会福祉の価値・理念 ○社会福祉の対人援助										
	【2日目】 10:30~16:00	○社会福祉の歴史・課題 ○実践現場における不安や戸惑いから考える利用者支援										
	【講師】新潟医療福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 助教 佐久間 由紀 新潟医療福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 講師 渡邊 恵司 新潟医療福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 助教 荒川 大靖											

▶組織マネジメント

チームビルディング研修

強いチームを作るためには、メンバーのスキルや、経験などを最大限に引き出し、同じベクトルに向かうことが必要です。そのためには、マインドセットの形成や、チームビジョンの確立、コミュニケーション、メンバーのモチベーション向上などが求められています。福祉業界においては、対人援助の職場にあって、対利用者・対職場内でのコミュニケーションに不安を感じているメンバーがいます。

本研修では、不安を解消させる手段として、チームビルディングについて学び、強いチームを作るために必要なことの「気づき」を掴んでもらうことを目的として開催します。

対象者	中堅職員または指導的職員、管理職員		
日程	6月3日(金)	会場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
受講料	6,200円(県社協会員は4,200円)	定員	60名
内容	時間	内容	
	10:00~12:00	○チームリーダーとしてのマインドセットの形成 ○強い組織を作るために必要な3要素(共通目的、貢献意欲、コミュニケーション)を理解し実践する	
	13:00~16:00	○チームコミュニケーション力を高める実践手法 ○チームで課題解決を図るファシリテーション手法	
【講師】 グローカルマーケティング株式会社 代表取締役 今井 進太郎			

スーパービジョン研修

職員を育成・指導する立場にある先輩職員や上司は、職員がより良い支援(不安の解消)や利用者との関係構築ができるようバックアップすることが求められています。

本研修では、スーパービジョンの基本や実践方法を理解することで、職員の専門性や資質の向上を図り、組織としての対応力の向上をめざすことを目的に開催します。

対象者	指導的立場の職員で、現に指導・助言・支援を行っている者及びその予定がある者		
日程	12月6日(火)	会場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
受講料	3,200円	定員	60名
内容	時間	内容	
	10:00~12:00	○スーパービジョンの基礎的理解について学ぶ	
	13:00~16:00	○スーパービジョンの必要性と活用方法について学ぶ	
【講師】 新潟市地域包括支援センターあじかた 管理者 小山 弓子			

コーチング研修

組織の人間関係に不安を持っている職員は多く存在します。仕事を教え方1つで人間関係は変わり、後輩のモチベーションも変化します。後輩を持つ職員には、後輩職員が自ら考え、行動できる力を育てるために育成・指導を行うことが求められます。

本研修では、職員の強みややる気を引き出し、自主的・主体的な職員の育成を図るため、コーチング理論と実践を理解することを目的に実施します。

対象者	指導的立場の職員で現に指導・助言・支援を行っている者及びその予定がある者		
日程	11月1日(火)	会場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
受講料	6,200円(県社協会員は4,200円)	定員	60名
内容	時間	内容	
	10:30~12:00	○コーチングの基本	
	13:00~16:00	○コーチングの実践	
	【講師】株式会社コーチエンタープライズ 代表取締役 諸橋 奈々		

より良い職場づくりのための業務改善研修

現在の仕事内容を見直すことで課題を抽出し、その課題に対してどのように改善していくのか、問題発見力や解決力を磨き、「気づき」を学ぶことを目的として開催します。

対象者	中堅職員または指導的職員、管理職員		
日程	7月8日(金)	会場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
受講料	3,200円	定員	60名
内容	時間	内容	
	10:00~12:00	○業務改善をする目的、業務の可視化の必要性和可視化手法 ○業務改善におけるコミュニケーションの必要性	
	13:00~16:00	○業務改善手法ワークショップ、アクションプラン作成	
	【講師】グローバルマーケティング株式会社 コンサルティング部 コンサルタント 山倉 正稔		

気づく力研修

福祉職場において中堅職員は、自身のスキル向上とチームを円滑に動かす力が求められています。また、利用者のサービス実現に貢献できる力を身に付けなければなりません。

本研修では、中堅職員としての心構え、周りから信頼される職員になるための「気づく力」を身に付けることを目的に開催します。

対象者	中堅職員及び指導的職員		
日程	9月6日(火)	会場	オンラインによるライブ配信
受講料	7,200円(県社協会員は5,200円)	定員	80名
内容	時間	内容	
	10:00~15:00	○今、中堅職員に求められること ~人が育つ・職場が変わる気づく力~	
	【講師】日本女子大学 人間社会学部 教授 久田 則夫		

リーダーシップ研修

福祉職場において組織を成長させるためには、リーダーシップを発揮し、職員の成長を推進していかなければなりません。

本研修では、リーダーとしての使命、取り組まなければならないことなどを講義・演習を通して学び、職場に持ち帰り実際に展開することを目的として開催します

対象者	中堅職員及び指導的職員		
日程	8月8日(月)	会場	オンラインによるライブ配信
受講料	7,200円(県社協会員は5,200円)	定員	80名
内容	時間	内容	
	10:00~15:00	○福祉リーダーの極意 ~揺るぎない福祉のプロを目指して~	
	【講師】日本女子大学 人間社会学部 教授 久田 則夫		

ファシリテーション研修

福祉現場において、様々な利用者支援に関する話し合いの場があり、方針を共有するために会議や打ち合わせが行われます。しかし、人それぞれ育ってきた環境・性格・立場などにより、意見が一致するとは限りません。そのため、進行に不安を持っている職員は多いのではないのでしょうか。

本研修では、ホワイトボード・ミーティング®を用いて受講者同士で話し合うことにより、合意形成をするためのファシリテーション技術の向上を図ることを目的に開催します。

対象者	福祉関係職員		
日程	11月7日(月)	会場	オンラインによるライブ配信
受講料	6,200円(県社協会員は4,200円)	定員	60名
内容	時間	内容	
	10:00~12:00	<ul style="list-style-type: none"> ○ファシリテーションとは、コツ ○ホワイトボードを使った可視化 ○相談・面談の効果的な進め方 	
	13:00~16:00	<ul style="list-style-type: none"> ○ホワイトボード・ミーティング®で進める支援計画・ケース会議 ○振り返り 	
【講師】株式会社ひとまち代表取締役 ちゃん せいこ 氏			

介護職のためのアンガーマネジメント研修

人間の怒りの感情は誰しものが持ち合わせているものです。職場内・利用者などと接する上でコントロールしなければなりません。

本研修では、ご自身の体験を共有しながら感情との付き合い方を学ぶことで「アンガーマネジメント」について理解を深め、自分も周囲の人も大切にしつつ、利用者の権利擁護と専門性を発揮できる職場づくりを目指すことを目的に開催します。

対象者	福祉関係職員		
日程	7月3日(日)	会場	オンラインによるライブ配信
受講料	7,200円(県社協会員は5,200円)	定員	60名
内容	時間	内容	
	13:30~16:00	<ul style="list-style-type: none"> ○アンガーマネジメントとは ○自己診断をしてみよう ○衝撃のコントロール、思考のコントロール、行動のコントロール 	
【講師】横浜市立大学 医学部 看護学科 講師 田辺 有理子			

ストレスマネジメント研修

福祉・介護等の対人援助職は、利用者及び家族支援、その他職場内外の様々な場面で精神的なストレスを受けやすく、適切に対処しないと心身の健康を崩してしまい、福祉サービスの質の低下や職場環境の悪化の原因となります。

本研修では、職員自身がストレス等による心身の不調を防ぐために、ストレスに対する理解を深めセルフケアの方法について理解することを目的に開催します。

対象者	福祉関係職員		
日程	11月25日(金)	会場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
受講料	6,200円(県社協会員は4,200円)	定員	60名
内容	時間	内容	
	10:30~12:00	○ストレス及びメンタルヘルスの理解	
	13:00~16:00	○ストレスサインや自己特性を知る ○不安やストレスに対するセルフケアやバーンアウトを防ぐ方法	
【講師】新潟医療福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 准教授 松本 京介			

モチベーションアップ研修

福祉の現場では、日常業務の多忙さや職場の人間関係、ストレスなどで悩みを抱えることより、モチベーションを維持するのが難しい現実があります。モチベーションの低下は組織の生産性の低下にも繋がり、個人の問題だけでなく組織としてもマネジメントしていく必要があります。

本研修では「やる気の維持・向上力」を理解し、専門職としてモチベーションアップを技術として身に付ける考え方や手法を習得することを目的に実施します。

対象者	福祉関係職員		
日程	12月7日(水)	会場	オンラインによるライブ配信
受講料	7,200円(県社協会員は5,200円)	定員	60名
内容	時間	内容	
	13:30~16:30	○自己分析を行いリーダーシップやフォロワーシップを図る ○やる気に関するストローク理論、アプローチ方法	
【講師】合同会社はなはさく 介護教員 知野 吉和			

▶コミュニケーション

福祉職の接遇マナー研修

職員間、利用者またはその家族と良い関係を保つには、職員の印象（態度・接遇マナー等）が重要になってきます。職員の対応が施設・事業所のイメージに大きな影響を与えます。

本研修では、福祉職において基本的な接遇の基本を学び、講義や演習を通して実務に活かせる技術を身に付けることを目的として開催します。

対象者	新任職員		
日程	6月30日(木)	会場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
受講料	3,200円	定員	60名
内容	時間	内容	
	13:30~16:30	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉職としての接遇を理解する ○正しい言葉遣いと話し方・聴き方 ○接遇マナーの実践 	
【講師】おやなぎ社会福祉士事務所 代表 小柳 緑			

コミュニケーション力向上研修

福祉・介護に携わる対人援助職は、利用者・家族との信頼関係の構築や適切なサービス提供を行うため、高いコミュニケーション能力を身につける必要があります。また、職場内においても、上司や同僚とコミュニケーションをはかりながら、業務を行うことが求められています。

本研修では、福祉・介護の現場において必要とされるコミュニケーション能力について、理解・習得することを目的に開催します。

対象者	新任職員または中堅職員		
日程	6月6日(月)	会場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
受講料	6,200円(県社協会員は4,200円)	定員	60名
内容	時間	内容	
	10:30~16:00	<ul style="list-style-type: none"> ○自分を知らること、相手を理解すること ○コミュニケーションの基本 	
【講師】社会福祉法人新潟南福祉会 特別養護老人ホーム虹の里 園長 砂井 一哉			

リーダーコミュニケーション研修

組織で働く上で、人それぞれ育ってきた環境などにより、考え方・価値観は異なります。多種多様な人たちが集まり、組織を同じベクトルに向けることがリーダーに求められていることであり、難しいところでもあります。

本研修では、リーダーとしての心構えや実践することについて学び、組織の不安を解消させる気づきを持たせることを目的に開催します。

対象者	中堅職員以上(部下を持つ立場の職員)		
日程	7月7日(木)	会場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
受講料	6,200円(県社協会員は4,200円)	定員	60名
内容	時間	内容	
	13:30~16:30	<ul style="list-style-type: none"> ○リーダー「自己認識力」 ○リーダーとしてのコミュニケーション力 ○発達段階・状況別の職員指導・サポートの工夫 ○指導困難職員に対する指導ポイント 	
【講師】株式会社あしたの森 社長 林 正海			

伝える力研修

福祉現場において、相手に自身の考えをわかりやすく「伝える」力が求められています。

また、職場内においても、多職種の職員が連携し業務を進めるためには、相手の立場を尊重しながら、自分の考えや意見を伝えることが必要となります。

本研修は、対人援助職に活かすコミュニケーション技術を習得することを目的に、演習を交えながら開催します。

対象者	福祉関係職員		
日程	10月25日(火)	会場	オンラインによるライブ配信
受講料	7,200円(県社協会員は5,200円)	定員	80名
内容	時間	内容	
	10:00~12:30	○コミュニケーションの基本	
	13:30~16:00	○コミュニケーションの高めるためには	
【講師】東京工芸大学芸術学部教授/芸術学部長 大島 武			

▶スキルアップ

相談面接技術研修

福祉サービスの提供やより良い支援につなげるためには、相談や面接の場面において、利用者の意向を的確に捉え、生活状況や生活課題を把握することが求められます。

本研修では、相談援助の基本的な理論と方法について理解・習得することを目的に開催します。

対象者	相談援助業務に従事している職員(3年以下)、または今後相談業務に就く予定の職員		
日程	7月22日(金)	会場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大会議室
受講料	6,200円(県社協会員は4,200円)	定員	60名
内容	時間	内容	
	10:30~12:00	○～相談面接技術の理解～ 相談援助職にとって必要な倫理や、面接に関する基礎的な知識・技術について理解する。	
	13:00~16:00	○～相談面接の実践～ 実践的な手法を学び、相談援助業務を円滑に進められるようにする。	
【講師】新潟医療福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 講師 大屋 未輝			

相談記録の書き方研修

福祉サービスの提供やより良い支援につなげるためには、相談や面接の場面において、利用者の意向を的確に捉え、生活状況や生活課題を把握する力が必要となります。

本研修では、安全な福祉サービスを提供するうえで援助職に求められる相談援助記録のあり方や書き方について、活用できる記録方法等を紹介しながら実践的に習得することを目的に開催します。

対象者	相談援助業務に従事している職員		
日程	12月14日(水)	会場	オンラインによるライブ配信
受講料	7,200円(県社協会員は5,200円)	定員	60名
内容	時間	内容	
	13:30~16:30	○援助職に求められる記録とは ○記録に必要とされる要素とは ○問題を解決するための支援記録とは	
【講師】アアライ株式会社 代表取締役 八木 亜紀子			

介護記録の書き方研修

「介護記録」は福祉サービスを提供するうえで非常に大切です。他人が読んで理解できる記録の書き方が必要となり、しっかりと組織として整備・共有することが求められています。

本研修では、介護記録の基本及び多種多様な場面での記録の仕方について、事例をもとに考えることにより、書くべき記録・観察ポイントを学び、実務に活かすことを目的として開催します。

対象者	福祉関係職員		
日程	12月2日(金)	会場	オンラインによるライブ配信
受講料	7,200円(県社協会員は5,200円)	定員	60名
内容	調整中		

認知症ケア・対応研修

超高齢社会の深刻化に伴い、介護現場における認知症患者への対応力向上は、サービスの質の底上げや利用者本人の尊厳の保持に関わる重要な課題です。認知症の方が住み慣れた場所や地域で自分らしく暮らすことができるよう支援するためには、認知症の症状(認知機能障害や行動・心理症状)を適切に理解し対応することが求められます。

本研修は、認知症への理解を深め、ご本人やご家族の視点に立ったケアを提供するために必要な知識や技術を理解し習得することを目的に開催します。

対象者	福祉関係職員						
日程	第1回：6月29日(水) 第2回：8月19日(金)	会場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室				
受講料	6,200円(県社協会員は4,200円)	定員	各60名				
内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時間</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10:30~16:00</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○認知症疾患の理解について ○認知症ケアにおけるアセスメントの重要性 ○パーソン・センタード・ケアの理念と認知症当事者の声 ○地域で認知症当事者を支えるための取り組み など </td> </tr> </tbody> </table> <p>【講師】クラレテクノ株式会社 ちゅーりっぷ苑 副苑長 新野 直紀</p>			時間	内容	10:30~16:00	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症疾患の理解について ○認知症ケアにおけるアセスメントの重要性 ○パーソン・センタード・ケアの理念と認知症当事者の声 ○地域で認知症当事者を支えるための取り組み など
時間	内容						
10:30~16:00	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症疾患の理解について ○認知症ケアにおけるアセスメントの重要性 ○パーソン・センタード・ケアの理念と認知症当事者の声 ○地域で認知症当事者を支えるための取り組み など 						

フィジカルアセスメント研修

施設や在宅にかかわらず医療ニーズの高い利用者が増加しており、看護職員等の医療職だけではなく利用者と接する機会の多い介護職員が利用者の心身の状態変化に気づく力が必要となっています。利用者に対する観察力を高めて的確に状態を把握し、チーム内で情報共有を行うことは、より質の高いケアを目指す上で重要です。

本研修は、介護職員が介護現場において、医学的な観点から利用者の生命と生活を支えるために必要なフィジカルアセスメント(身体的評価)技法について理解・習得することを目的に実施します。

対象者	福祉関係職員		
日程	7月21日(木)	会場	オンラインによるライブ配信
受講料	7,200円(県社協会員は5,200円)	定員	60名
内容	時間	内容	
	13:00~17:00	<p>○介護現場におけるフィジカルアセスメントの意義とスキルアップ 高齢者のフィジカルアセスメント(身体的特徴と観察ポイント)医療的ニーズの高い利用者の理解(尿管や胃ろう、点滴などの仕組み)事例で考えるフィジカルアセスメントの実際</p>	
【講師】 清泉女学院大学 看護学部 教員 大澤 智恵子			

看取りケア研修

超高齢化が進む中、最期まで住み慣れた場所や地域で過ごすため、社会福祉施設や在宅での看取り支援が重要になっています。生活の場である施設や在宅における看取りケアは、利用者や家族の意思を尊重しながら多職種連携による実践が求められています。

本研修では、看取りケアの現状と課題、終末期対応や多職種連携、家族へのケアの方法等について理解することを目的に開催します。

対象者	福祉関係職員		
日程	12月16日(金)	会場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
受講料	6,200円(県社協会員は4,200円)	定員	60名
内容	時間	内容	
	10:30~16:00	<p>○施設・在宅における看取の現状と対応について</p>	
【講師】 新潟医療技術専門学校 非常勤講師 保健学博士 本間 美知子 社会福祉法人苗場福祉会 企画教育推進室 室長 小松 順子			

口腔ケア研修

口腔ケアは、肺炎予防や栄養状態の改善、認知機能の維持向上など様々な効果を持つとされ、介護報酬においても、口腔機能向上加算や口腔衛生管理加算などの評価がなされています。

本研修では、口腔ケアの効果や必要性について理解するとともに、口腔ケア・食事介助を安全かつ効果的に実施するための基本を習得することを目的とします。

対象者	福祉関係職員		
日程	8月9日(火)	会場	オンラインによるライブ配信
受講料	6,200円(県社協会員は4,200円)	定員	60名

内容	時間		内容	
	13:30~15:00	○口腔ケアの必要性・効果と実際		
	15:10~16:40	○口腔ケアの実際と食事介助の基本		
	【講師】新潟大学 歯学部 口腔生命福祉学科 教授 大内 章嗣 新潟大学医歯学総合病院 口腔リハビリテーション科 病院講師 伊藤 加代子			

Ⅰ 研修実施方法

研修内容に適った実施方法で提供します。

集合研修

👁️ 講義と演習を組み合わせたより実践的な研修形式

- 集合研修ならではの研修効果（グループワークや演習）を重視します。
- 新型コロナウイルス感染対策を徹底して実施します。

<受講者の声>

- ・同じ空間に集まることで、受講者との相互啓発や横のつながりが広がることにより、モチベーションが向上した。
- ・講師の熱量を直接感じることができ、緊張感をもって参加できた。
- ・ソーシャルディスタンスなど感染対策がしっかりと行き届いていて、安心してワークができた。



オンライン研修（ライブ配信）

👁️ 質疑応答や演習も可能でリアルに近い研修形式

- ウェブ会議アプリ「Zoom」を利用します。
- インターネット環境があれば、講師から直接講義を受けたり、受講者同士ディスカッションをしたりすることが可能です。
- 研修会場に足を運ばなくても参加でき、講師の幅も全国各地に広がります。

<受講者の声>

- ・グループワークを通じた演習があり実践をイメージした学習ができた。
- ・発言する機会が多く設けられており、対面での講義と全く遜色なかった。
- ・会場に行かなくてもよく、移動時間が削減できた。
- ・研修のためのスペースやまとまった時間の確保が不要となりコストを抑えられた。



オンライン研修（収録配信）

👁️ 学習コンテンツや録画した講義映像を視聴する形式

- 研修内容を録画し、クラウド上で配信します。
- 配信期間内であれば、24時間視聴可能です。
- 複数人で視聴するなどし、職場内研修のツールとして職場内の共通の知識・技術の習得が期待できます。

<受講者の声>

- ・繰り返し視聴できたり、時間の融通が利き、自分のペースで進められた。
- ・多くの職員が視聴することで、施設内での共通認識が形成できた。



■ 申し込みから受講までの流れ

研修の受講申し込みは、すべてオンライン（研修申込システム）からの申し込みとなります。

受講決定等の研修に関する連絡は、kensyuu@fukushiniigata.or.jp からお送りしますので、このメールアドレスが迷惑メール等として処理されないよう設定してください。

事業所登録

・研修申込システムを利用するには、法人・事業所登録が必要です。未登録の場合は、研修センター事務局までご連絡ください。

☞既に登録済みの場合は、「申し込み手続き」に進んでください。

申し込み手続き

・研修申込システムにログインし、受講する研修の申し込みフォームに必要事項をご入力ください。<https://www.fukushiniigata.or.jp/kensyuu/kensyuuc/>

・申し込みフォームを送信すると、「受付確認メール」が自動返信されます。申し込み頂いた研修名や開催日などに間違いがないか必ずご確認ください。

☞受付確認メールが届かないときは…

登録されているメールアドレスに誤りがある場合がありますので、「法人施設登録情報」からご登録のメールアドレスをご確認ください。

受講承認

・申し込みされた研修の受講承認は、申込締切後、10日以内にメールにてお知らせします。メールに記載された URL から研修の受講承認結果を確認してください。

・なお、研修申込システム上の「社会福祉関係職員研修一覧・申込」からも申込状況等を確認できます。

受講料の支払い

・受講料を受講承認通知に記載の振込期限日までに指定口座にお振り込みください。

・受講料を振り込みの際は、承認通知のメールに添付する「社会福祉研修受講料振込連絡票」を必ず研修センター事務局にメールまたは FAX してください。

・一部研修においては、県社協の会員施設・事業所である場合、会員料金が適用されます。研修申込システムの「法人施設登録情報」から「社協会員加入」欄に がされているかご確認ください。

研修受講

<集合研修の場合>

・開催要綱に記載された事前課題等を確認し、会場へお越しください。

<オンライン研修の場合>

・研修を申し込みした際の法人・事業所または個人の ID・パスワードで研修申込システムにログインし、該当研修の「視聴」ボタンから視聴できます。

☞その他、研修申込システムの使用方法についてはマニュアルをご覧ください。

https://www.fukushiniigata.or.jp/web_manual/manual.pdf

■ 受講上の留意事項

【全研修共通】

- (1) 研修当日のお申し込みは一切できません。申込締切日までに研修申込システムよりお申し込みください。
- (2) 受講承認後に研修受講日程を変更することはできません。業務都合等で、キャンセル及び受講者を変更する場合は、必ず研修センター事務局へご連絡ください。
- (3) 受講料入金後の返金はいたしません。また、他の研修の受講料に振り替えることもできません。
- (4) 宿泊及び昼食については、研修センター事務局では斡旋いたしませんので各自で手配してください。
- (5) 自然災害等により、研修の開催が困難であると判断したときは、中止または日程変更を行う場合があります。その際は、本会ホームページ及びメール等でお知らせします。
- (6) 受講者に関する個人情報、当研修の目的を達成するために必要とする最小限の範囲とし研修事業関連のみの目的で使用します。また、その管理は「県社協個人情報保護規程」に基づき適切に行い、無断で第三者に提供することはありません。

【集合研修】

- (1) 会場内の空調管理に努めますが、空調の体感温度には個人差がありますので、温度調整のできる服装でお越しください。
- (2) 会場（新潟ユニゾンプラザ）の駐車場は、他の催事により混み合い駐車できない場合がありますので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。
- (3) 新型コロナウイルス等感染症対策については、次ページをご参照ください。

【オンライン研修（ライブ配信・収録配信）】

- (1) 研修動画の録画・録音及び資料の二次利用、SNS 等への投稿は固くお断りいたします。
- (2) ライブ配信の研修では、「Zoom」というウェブ会議アプリを使用して実施しますので、下記についてご準備ください。
 - パソコン（受講者1名につき1台）
 - ウェブカメラ
 - マイク・ヘッドセット
 - イヤホン（推奨）
 - インターネット環境（有線 LAN での接続推奨）
 - 研修受講に適した環境（個室や会議室など受講者以外の声が入らない環境）
- (3) 接続テストは実施いたしませんので、事前に Zoom の利用環境をご確認ください。
- (4) 受講者側のシステムトラブルや接続の不具合などにより研修に参加できなかった場合や途中の切断・画像音声に乱れが生じた場合、受講料は返金いたしません。また、研修の再配信もいたしませんのでご了承ください。
- (5) 視聴のために使用する URL 等は、研修を受講する方のみ利用可能です。URL 等の再配布は禁止です。

☞ その他研修に関する Q&A は、ホームページをご確認ください。

https://www.fukushiniigata.or.jp/kensyuu/system_qa/

■ 研修実施上の新型コロナウイルス等感染症対策について

新型コロナウイルス等感染症の感染防止のため、研修を受講される皆様及び講師並びに職員の安全を第一に考え、下記の対策を講じております。

何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【受講者の皆様へのお願い】

- (1) 研修開催日 14 日前から各自検温等を行い、体調管理に努めてください。過去 2 週間以内に発熱や感冒症状があった方は受講をお控えください。
- (2) 研修当日に自宅で検温し、37.5 度以上の発熱がある場合は受講をお控えください。(会場入口で検温を実施しますのでご協力ください。)
- (3) 咳エチケットを遵守するとともに、研修中はマスクの着用を徹底し、会場への入退出の都度、手指消毒の徹底をお願いします。
- (4) 休憩時や昼食時など、身体的距離の確保をお願いいたします。
- (5) 適宜、会場内の換気を実施するため、温度管理ができる服装でお越しください。
- (6) 研修受講後 14 日の間に感染の疑いが生じた場合や濃厚接触者として待機を求められた場合は、ご連絡ください。



体調管理



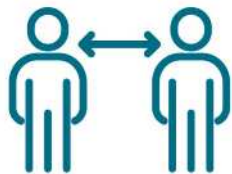
検温のお願い



消毒液設置



マスク着用



ソーシャルディスタンス



室内の換気

【研修センターの感染予防対策】

- (1) 受講定員数を縮小し、受講者間の距離を確保します。
- (2) 受講者、講師、スタッフのマスクの着用を必須とします。
- (3) 会場入口に消毒液を設置します。
- (4) 休憩時等、定期的に換気を行います。
- (5) 複数の人の手が触れる箇所や備品については、適宜消毒します。
- (6) 研修によっては演習を実施しますが、その場合も受講者同士の距離を確保したうえでグループ化します。なお、演習については、一部簡略化して実施する場合もございます。

法人・事業所の皆様へ ～社会福祉研修管理システムの活用について～

福祉関係団体の研修開催情報を提供します

福祉関係団体(7団体※)が主催する各種研修の開催情報をまとめて閲覧できます。福祉に関する研修について、体系的な受講計画の策定や個々のキャリアパス・スキルアップにぜひご活用ください。

※県社会福祉研修センター、県介護支援専門員協会、県社会福祉士会、県介護福祉士会、県老人福祉施設協議会、県保育連盟、県ホームヘルパー協議会

職員の研修受講履歴を管理することができます

システムにログインすることで、個々の職員について勤務年数や福祉経験年数、取得資格や研修受講履歴を一括で管理できます。また、経験年数や職種などに応じて個々の職員に必要な研修（おすすめ研修）をシステム上でご提案します。

▶過去の研修受講履歴を振り返ることができる！

WEB画面のイメージ

社会福祉研修受講経歴

No.	研修名	受講日
01	平成25年度 社会福祉施設中堅職員研修	2013/6/27
02	平成25年度 社会福祉施設指導的職員研修	2013/9/9

▶外部の研修や資格も登録・確認できる！

WEB画面のイメージ

受講日

No.	研修名	受講日	削除
01	喀痰吸引等研修	平成22年5月10日	削除
02	介護記録の書き方研修会	平成23年9月8日	削除
03	ユニットリーダー研修会	平成24年2月3日	削除

▶取得資格

取得資格名

No.	取得資格名	削除
01	介護福祉士	削除
02	社会福祉士専	削除
03	ホームヘルパー2級課程	削除



お問い合わせ

社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会 福祉人材課
 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ3階
 TEL : 025-281-5524 / FAX : 025-282-0548
 URL : <http://www.fukushiniigata.or.jp/kensyuu/>

『学ぶ・気づく・描く・変わる』のサイクルによる行動変容！ 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程

Career Up !

自らの職業人生の道筋を描き、見通しを持つことは、自己研鑽しつつ働き続けて行くことの意欲を高めるうえで、大きな意味を持ちます。

組織として、職員が中長期にたどる職業人としての成長に向けた適切な進路を仕組みとして整備することは、人材の確保・定着・育成、ひいては、サービスの質の確保・向上を図るうえで、大変重要な組織的課題といえます。

福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程は、こうしたキャリアパスの整備・充実を支援するための研修として実施いたします。



福祉・介護職員の階層ごとに福祉全体に共通する専門性と、チームケアの一員をなすための組織性を学び、また、自身のこれまでのキャリアを振り返りながら、今後のキャリアを主体的に描き、実践するための方法を提供いたします。

「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」の特徴

①福祉の全分野に共通して求められる能力を開発

福祉のどの分野の施設や事業所であっても、どの職種であっても共通して求められる能力を開発する研修です。異なる分野の施設・事業所をもつ法人であっても、共通言語・共通理解をもって職員の育成を進めることができます。

②職員自らがキャリアアップの道筋を描く

福祉職員が自らの歩んできた道を振り返り、また、新たな知識や体験を通して、自らの将来像を描き、職業人生の意味を深め、その価値を高めることをねらいとしています。そのことは職員が働き続けていくうえでの力となり、ひいては、福祉人材の確保・定着や利用者サービスの向上につながります。

③キャリアの各段階に応じて求められる能力・役割を段階的・体系的に学ぶ

初任者から管理職員に至るまで、キャリアの各段階で求められる能力や役割について、全国社会福祉協議会が開発した全国共通のカリキュラムと専用テキストに基づき、段階的・体系的に学ぶことができます。研修修了者には修了証を発行します。

研修の科目構成

基軸科目	●キャリアデザインとセルフマネジメント
基礎科目	●福祉サービスの基本理念と倫理 ●メンバーシップ
啓発科目	●能力開発 ●業務課題の解決と実践研究 ●リスクマネジメント ●チームアプローチと多職種連携・地域協働 ●組織運営管理

問い合わせ先

社会福祉法人新潟県社会福祉協議会 社会福祉研修センター
〒950-8575 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ3階
TEL : 025-281-5524 MAIL : kensyuu@fukushiniigata.or.jp




◀ ホームページ・お申し込みはこちら



社会福祉法人 Niigata Zoshiki Kyokai Center
新潟県社会福祉協議会

「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」の概要

プログラム


自己学習 

①自己学習として、事前にテキストを読み込み、事前課題（事前学習及びプロフィールシート）を作成したうえで面接授業（2日間）に参加します。

面接授業 

②面接授業では、講義と演習を通してテキストの内容を確認しながら、受講者一人ひとりが自らのキャリアパスを考えます。

☞面接授業はグループワークを中心に構成され、受講者同士で交流を深めながらの学び合いを主軸として構成しています。

奨励事項 

③面接授業の最後には「私のキャリアデザインシート」を作成し、研修後に上司から本人に対し、励ましやアドバイスなどをコメントしていただく仕組みになっています。

コース

初任者

職務経験3年以下の職員

チームの一員として必要なコミュニケーションの基本を学ぶ

中堅職員

職務経験4年以上の職員

メンバーシップやチームワークのあり方を再確認する

チームリーダー

主任・係長等の職員

職場の問題解決手法を学び、問題解決能力を高める

管理職員

施設長・管理者等の職員

管理職員としてのリーダーシップの醸成を図る

受講料

7,200円
(管理職員コースは9,000円)

受講者アンケート

☞ 受講者の満足度

99%

受講者が「大変満足した」「満足した」と回答。
(令和3年度受講者アンケートより)

☞ 事業所の代表者の満足度

95%

受講者の所属長が「本研修課程が人材育成・定着に役立っている」「概ね役に立っている」と回答。(令和元年度研修受講後アンケート調査より)

☞ 受講者の声

初任者に求められる能力や仕事への姿勢などを学びました。自分自身がなぜこの仕事を志したのか改めて考える時間になり、他の方の考えや意見に触れとても良い刺激になりました。(初任者コース受講者)

事前課題やグループワークに取り組む中で、中堅職員としての役割を考え、今のままの姿勢ではいけないのではないかと感じ自分自身と向き合う貴重な機会になりました。(中堅職員コース受講者)

チームリーダーとしての立場を理解し、利用者様への支援について考え実行するだけでなく、職員や施設全体についても目を向けることが、今の自分に足りないと感じられました。(チームリーダーコース受講者)

管理職として何を心掛け・実行に移すべきかを理解できました。研修での学びを自己研鑽で終えるのではなく、職場や法人に還元していきたいです。他の職員にも受講を薦めたいです。(管理職員コース受講者)

令和4年度実施日程

初任者	7月7-8日/9月6-7日/10月3-4日	中堅職員	7月26-27日/8月25-26日/10月12-13日
チームリーダー	8月30-31日/9月21-22日/10月26-27日	管理職員	8月29-30日

※日程は、新型コロナウイルスの感染状況等により変更される場合がありますので、予めご了承願います。
※受講のお申し込みや開催等の詳細は、県社協ホームページにアクセスしてください。

問い合わせ先

社会福祉法人新潟県社会福祉協議会 社会福祉研修センター
〒950-8575 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ3階
TEL : 025-281-5524 MAIL : kensyuu@fukushiniigata.or.jp



◀ ホームページ・お申し込みはこちら



社会福祉法人 Niigata Zoshiki Kyokai Center
新潟県社会福祉協議会



社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償

(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、サイバー保険、
動産総合保険、費用・利益保険)

① 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間1年

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故に対応	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等の各種費用	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

- オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ● 施設の医療事故補償
 - ・ 医務室の医療事故補償
 - ・ 看護職の賠償責任補償
- オプション3 ● 施設の借用不動産賠償事故補償
- オプション4 ● クレーム対応サポート補償
- NEW**
- オプション5 ● 施設の感染症対応費用補償
休業補償から各種対応費用までワイドな安心
 - ① 休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
 - ② 消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
 - ③ 感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

- ② 個人情報漏えい対応補償 ③ 施設の什器・備品損害補償

プラン2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

- ① 入所型施設利用者の傷害事故補償
- ② 通所型施設利用者の傷害事故補償
- ③ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償



プラン3 職員等の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険)

- ① 職員の労災上乗せ補償
 - オプション：使用者賠償責任補償
- ② 役職員の傷害事故補償
- ③ 役職員の感染症罹患事故補償
- ④ 雇用慣行賠償補償



プラン4 法人役員等の補償

(役員賠償責任保険)

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
〈保険会社〉 TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

令和4年度

ホームページでも内容を紹介しています
<https://www.fukushihoken.co.jp>

全社協 保育所・認定こども園の損害補償

スケールメリットを活かした充実した補償と割安な保険料です。



◆ 加入対象は社会福祉法人等が運営する認可保育所、認定こども園

セットプラン

保険金額	基本セットプラン	天災セットプラン		基本セットプラン	天災セットプラン		
賠償事故に対応	身体賠償（1名・1事故）	1億円・7億円	2億円・10億円	園児の傷害事故に対応	死亡保険金	121.2万円	108万円
	財物賠償（1事故）	1,000万円	1,000万円		後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4%～100%	
	受託・管理財物賠償（期間中）	200万円	200万円		入院保険金（1日あたり）	1,700円	1,500円
	うち現金支払限度額（期間中）	20万円	20万円		手術保険金	入院中の手術：入院保険金日額の10倍 外来の手術：入院保険金日額の5倍	
	人格権侵害（期間中）	1,000万円	1,000万円		通院保険金（1日あたり）	1,100円	1,000円
	事故対応特別費用（期間中）	500万円	500万円		天災補償	なし	あり
	被害者対応費用	1名につき 5万円限度 1事故 10万円限度					

個別プラン

プラン1 保育所業務の補償

① 基本補償

- オプション1 ● 地域子育て支援拠点事業等補償
- オプション2 ● 施設の借用不動産賠償事故補償
- オプション3 ● 看護職の賠償責任補償
- オプション4 ● クレーム対応サポート補償

NEW

● オプション5 施設の感染症対応費用補償

休業補償から各種対応費用までワイドな安心

- ① 休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
- ② 消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用などの費用を幅広く補償
- ③ 感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

② 個人情報漏えい対応補償

③ 保育所の什器・備品損害補償

新型コロナウイルスを含む特定感染症に対し、新たなオプションが追加されました



プラン2 保育所利用者の補償

- ① 園児の傷害事故補償
- ② 来園者の傷害事故補償
- ③ 園児送迎車搭乗中の傷害事故補償

プラン3 職員等の補償

- ① 職員の労災上乗せ補償
- ② 役職員の傷害事故補償
- ③ 役職員の感染症罹患事故補償
- ④ 雇用慣行賠償補償

プラン4 法人役員等の補償

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約（賠償責任保険、サイバー保険、学校契約団体傷害保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険）です。

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「保育所・認定こども園の損害補償」手引またはホームページをご参照ください。

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 TEL：03(3349)5137

受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、年末年始を除きます。）

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL：03(3581)4667

受付時間：平日の9:30～17:30（土日・祝日、年末年始を除きます。）

(SJT1-12225 から抜粋)

令和4年度

社会福祉関係職員研修概要

発行：令和4年3月

発行元：社会福祉法人新潟県社会福祉協議会

社会福祉研修センター

〒950-8575

新潟県新潟市中央区上所2丁目2番2号

電話 025 (281) 5524
